



武道の歴史と横浜

特集

横浜の武道

現在、世界中で注目されている日本の「武道」。
今回は先日開催された「第20回横浜武道合同演武会」を中心に、
横浜の武道についてご紹介します。

武道憲章

武道は、日本古来の尚武の精神に由来し、長い歴史と社会の変遷を経て、術から道に発展した伝統文化である。

かつて武道は、心技一如の教えに則り、礼を修め、技を磨き、身体を鍛え、心胆を錬る修業道・鍛錬法として洗練され発展してきた。このような武道の特性は今日に継承され、旺盛な活力と清新な気風の源泉として日本人の人格形成に少なからざる役割を果たしている。

いまや武道は、世界各国に普及し、国際的にも強い関心が寄せられている。我々は単なる技術の修練や勝敗の結果にのみおぼれず、武道の真髄から逸脱することのないよう自省するとともに、このような日本の伝統文化を維持・発展させるよう努力しなければならない。

ここに、武道の新たな発展を期し、基本的な指針を掲げて武道憲章とする。(日本武道館「武道憲章より」)
横浜の武道の歴史

■相撲の披露

嘉永7年(1854)2月26日アメリカ合衆国の駐日特派使節ペリーをもてなすため、江戸の力士を横浜へ動員して稽古相撲を披露。

■武道場の開設

明治41年(1908)、日ノ出町1丁目39番地に北辰一刀流武術の指南所として「揚武館」が開設。

■弓道場の開場

六大都市の中で横浜がさきがけて、昭和6年(1931)2月1日、元町公園内の横浜ブル上にも宮の弓道場が開場。

横浜市教育委員会

市政100周年・開港130周年記念刊行物

「横浜入港100年の歩みより」



第20回横浜武道合同演武会

今年で20回目を迎えるこの演武会は、『横浜元氣!!スポーツ・レクリエーションフェスティバル2018』の一環として毎年体育の日に開催され、(公財)横浜市体育協会加盟10武道団体による「心・技・体」が一つとなった演武の発表会です。

今年「技を磨き、心を修める未来へ続く武道の輝き」をテーマに、日頃の修練の成果を発表しました。また、武道を知らない方が気軽に武道に触れ、親しむきっかけづくりとして、当日無料で誰でも参加できる「体験コーナー」を開催しました。

〔武道10団体〕

- 横浜市剣道連盟、横浜市弓道協会、
- 横浜市柔道協会、横浜市相撲連盟、
- 横浜市なぎなた連盟、横浜市空手道連盟、
- 横浜市太極拳協会、横浜市少林寺拳法連盟、
- 横浜市合気道連盟、横浜市日本拳法連盟



開会式



横浜市柔道協会

体験

武道初心者スタッフが 体験コーナーに潜入!



なぎなた

長い薙刀の扱いは難しく、先生の所作の美しさに感動!



相撲

しゃがんだり、中腰の姿勢での移動で、太ももの筋肉がプルプルしました。

10武道団体の初心者向け体験コーナーに、2名のスタッフが体当たりで全ての種目に挑戦しました!



ガンバリマス!!



柔道

ケガなく練習するためには、受け身は大事な技術ですね。



剣道

竹刀で正しく防具を打つと、良い音が響きました。



空手道

力強い蹴りを、先生に褒めていただきました!



太極拳

腕も脚も、動きには意味があることを教えていただきました。



合気道

護身術を学びました。少しの力で先生もこの通り!



少林寺拳法

突きや蹴りは、武道ごとに少しずつ技術が違うんですね。



日本拳法

突きは身体全体を使って力強く打つ!



弓道

和弦の正しい引き方は、手首がポイントです。

子どもから大人まで、会場に入りきれない程の参加者が、とても熱心に指導を受けていました。先生方はやさしく丁寧に、質問にも細やかに対応していて、参加者はとても満足していました。ほとんどの参加者は、複数の武道を体験していて、一般の方だけではなく、演武を終えた演者が積極的に、他の武道体験に参加する姿も見られました。

1日を通して武道に触れ、親しむことができた楽しい体験会でした。

横浜市空手道連盟

空手道は心身の練磨を基礎として、練習を通して人間形成を図っています。空手が2020年東京オリンピックの正式種目として採用されました。当連盟でも候補選手育成に励んでいます。

教室や体験会の紹介

各道場へ連絡してください。

団体連絡先

横浜市空手道連盟事務局 担当者 加古文彦
TEL 046-754-0870 携帯 090-8057-2997
Mail kako12345@jcom.home.ne.jp
横浜市空手道連盟 担当者 米田裕信
携帯 090-1116-6619



横浜市相撲連盟

相撲は日本の「国技」と言われ、1,800年の歴史があります。勝ち負けにこだわり過ぎず、己の心と身体を鍛錬する、それが武道。「身体が大きくなれば…」というイメージがありますが、小さな身体でも相撲はできます。アマチュア相撲では、女性も土俵に上がることができます。

教室や体験会の紹介

見学・体験ができます。

稽古場所 旧野庭高校相撲場
稽古日時 毎週日曜日 10:00～
※事前連絡なく当日お越しください。



団体連絡先

横浜市相撲連盟事務局
担当者 倉持均
TEL/FAX 045-785-8992

横浜市少林寺拳法連盟

少林寺拳法は、1947年に創始者・宗道臣によって、自信と勇気と行動力と慈悲心を持った社会で役立つ人を育てる「人づくりの道」として、香川県において創始された日本の武道です。この理念のもと、市内各所において活動を展開しています。

教室や体験会の紹介

市内の各所属単位の修練場所において、護身術教室や体験会などを開催。

《体験会例》

- 転んだときの受け身
- 腕を掴まれた時の逃れ方

団体連絡先

横浜市少林寺拳法連盟 担当者 三枝勝巳
住所 〒221-0865 横浜市神奈川区片倉2-5-8
TEL 045-413-5800 FAX 045-491-5507
Mail ksnsi@mud.biglobe.ne.jp



横浜市弓道協会

当協会は、昭和4年4月1日に設立し、現在15所属団体、会員総数約1,200名(平成30年4月時点)です。弓道を通じて体位の向上、情操の涵養に努め市民生活の向上を図っています。また、市民大会をはじめとする各種行事運営、全国健康福祉祭大会(ねんりんピック)、都市間交流大会など市外への代表選手選考派遣、市内公園弓道場の管理運営も行っています。

教室や体験会の紹介

【初心者教室(10日間)】

元町公園弓道場:毎週(金)(土)
常盤公園弓道場:年2回(4月～5月/9月～10月)
本郷ふじやま公園弓道場:年2回(4月～6月/9月～11月)
※体験会(半日)は、本郷ふじやま公園弓道場にて4月、9月に開催しています。

団体連絡先

横浜市弓道協会
元町公園弓道場 TEL 045-641-1217
常盤公園弓道場 TEL 045-333-3735
本郷ふじやま公園弓道場 TEL 045-893-1399



武道十団体の紹介

横浜市太極拳協会

太極拳は中国武術の1つとして、日本の武道と同様にその精神と己の技術の高みを旨とし、武術修養を根底に自他を尊重したものです。

当協会は30年にわたり、各区のスポーツセンターにて「太極拳教室」の運営に関わり、多くの方に太極拳を体験していただいています。その太極拳教室から発生した同好会も数多くあり、現在加盟団体は約30団体。500人程の会員が各地域で活動しています。

教室や体験会の紹介

「市民健康祭太極拳大会」体験講習会(年間6回)
10時～15時15分開催予定
平成30年12月23日(日)港南スポーツセンター
平成31年1月13日(日)神奈川スポーツセンター
平成31年2月24日(日)磯子スポーツセンター
※詳細は下記連絡先へお問い合わせください。

団体連絡先

横浜市太極拳協会 TEL/FAX 045-775-0021



▲横浜武道館(サブアリーナ)(完成イメージ)



▲4面の広さを備える武道場(イメージ)

※完成予定図の著作権は、梓設計・フジタ 設計共同企業体に帰属します。

2020年10月予定、横浜武道館が新たな横浜文化体育館のサブアリーナとして完成します。
「『する』を支える」をコンセプトとした施設として、市民スポーツの活動拠点として、市民にとって武道の聖地となる施設が誕生することとなります。
武道4面分のスペースと500席の観覧席を備える武道場(1階)は、大会だけではなく、個人や団体での練習利用も可能な施設となります。
武道8面分のスペースと約3,000席の観覧席を備えるアリーナ(2階)は、武道での利用に限らず、これまでの横浜文化体育館同様、多目的に利用できる施設となります。

横浜武道館の誕生

其の三
新しい
スポーツの聖地へ



横浜市剣道連盟

当連盟は平成7年に設立し、毎年4月に横浜地区講習会、4月・12月に剣道初段～三段の審査会を主管しています。6月に市民・マスターズ大会、8月に小学生、東西対抗大会を開催し、10月の横浜武道合同演武会では、横浜18支部で基本技の披露や居合の演武などを紹介しています。剣道1級から剣道八段まで5,321名、小学生剣士約1,500名の会員が稽古をしています。

教室や体験会の紹介

市内道場、剣友会、クラブなどで体験できます。そのほか、県立武道館には教室があります。

団体連絡先

横浜市剣道連盟事務局
TEL 090-1117-7779(水野)

神奈川県剣道連盟事務局
TEL 045-321-6178

神奈川県立武道館
TEL 045-491-4321



横浜市日本拳法連盟

「日本拳法は、素手の格技である。その技術構成は、拳の突打、足の蹴りなどの搏技(うちわざ)と、組みつた場合の投技、関節の逆技などの諸技とを総合したものである。人間の最も本来的な格闘技術である。その特徴は、突打蹴の搏技に対して、安全に、かつ自由に打ち合って稽古をすることである。創案の防具を着装して、この稽古法を練技の主流とし、またこの様式によっていままでできなかった試合を可能にしたことである。」

(日本拳法宗家 澤山宗海著書「日本拳法」抜粋)

教室や体験会の紹介

ご希望者に合わせたご案内をします。下記内容を添えて、事務所あてに手紙、はがき、電話、FAX、mail でお問い合わせください。

- 1.住所 2.氏名 3.年齢
- 4.連絡先 5.武道、スポーツの経験など

団体連絡先

横浜市日本拳法連盟連絡事務所
担当者 小野謙治
住所 〒235-0032 横浜市磯子区新杉田町7-23 セジュール新杉田301
日本拳法横浜道場事務所内
TEL 045-773-9430 FAX 045-774-7450
携帯 090-7721-8963
Mail ycr@nipponkenpo.com
URL http://www.nipponkenpo.com/



横浜市柔道協会

当協会は、柔道の普及・振興および、青少年の健全育成と人格陶冶を期することを目的に活動しています。柔道大会・研修会の主催、共催、後援、また講道館・神奈川県柔道連盟の段位推薦委託団体として、段級審査会・形講習会の運営、市内の道場・クラブや愛好者の全日本柔道連盟登録の推進、および申請事務などを行っています。

教室や体験会の紹介

【初心者教室】
小学生:年30回(時期4～2月、受付2～3月)
中学生・一般:年20回(時期10～12月、受付8～9月)
※柔道を始めたばかりの中学生が対象の中学生柔道教室を8月に2日間(受付7月)開催。

団体連絡先

横浜市柔道協会事務局 担当者 鈴木常夫
住所 〒220-0061 横浜市西区久保町21-20-602
TEL 090-4013-1253



横浜市なぎなた連盟

当連盟は、小学生が多いクラブや高齢者が多いクラブなど特徴があり、11のクラブが存在します。近年では、男性も増えてきています。なぎなたの普及・振興また指導者の育成を図り、会員相互の健康づくりと仲間づくりをし、心豊かに活動しています。

教室や体験会の紹介

クラブでは随時見学・体験を開催。
初心者教室も県立武道館にて開催
(毎週(火)10:00～11:30)

団体連絡先

横浜市なぎなた連盟 担当者 代表 倉又明美
TEL 045-842-7936
URL https://yokohamanaginata.jimdo.com/



横浜市合気道連盟

当連盟は、平成8年に設立しました。合気道は、警察の逮捕術や自衛隊の格闘技から、一般人の健康増進まで、世界各国で老若男女を問わず親しまれ、体格や体力を問わず習得できます。「柔よく剛を制する」「小よく大を制する」和の武道を体験ください。

教室や体験会の紹介

無料体験入門随時受付中。
年1回、県立武道館にて演武会を開催。
(平成31年度は3月23日(土)予定)

団体連絡先

横浜市合気道連盟 担当者 会長 星裕二
Mail awatami.h1505@ezweb.ne.jp
事務局 担当者 金子俊一
Mail bffxb814@ybb.ne.jp
URL http://aikido-renmei.yokohama/



横浜文化体育館が
生まれ変わる

～新たな歴史のスタート～

横浜武道館(サブアリーナ)完成の約4年後には、メインアリーナがオープンします。メインアリーナは、現横浜文化体育館を解体して建設され、「観る」をコンセプトとした5,000席の観覧席と大型ビジョンを備え、さらに、ホテルや飲食店が併設される予定です。

「つなぐ」をコンセプトに建設される両アリーナ。横浜の歴史と未来、人と人とまちをつなぐ、新たなスポーツ・文化の歴史がここからスタートします。



▲メインアリーナ(完成イメージ)



▲プロスポーツを行うメインアリーナ



▲両施設の鳥瞰図(イメージ)

※完成予定図の著作権は、梓設計・アーキボックス・大成建設 設計共同企業体に帰属します。